広島県教育委員会　NEWS RELEASE

広島ならではの学びを通じて、
一人一人の個性や能力を見いだし、伸ばし、生きる力を育む

報道提供資料
令和８年11月20日
学校名　広島県立広島皆実高等学校
担当者　教頭　藤井
電　話　082 - 251 - 6441

Team MINAMI
http://www.minami-h.hiroshima-c.ed.jp

広島皆実高等学校「全校平和学習会」を開催します

広島皆実高等学校では、全校生徒が平和について自ら考え、自ら探究し、行動するために、全校平和学習会を行います。
これまで本校生徒会が「語りつぐヒロシマ」などの活動を通して交流してきた、河田和子さん（本校の前身である広島第一高等女学校同窓生）の被爆証言に耳を傾け、河田さんが語り継いできた被爆体験や平和への思いを継承します。

１　日　時

令和８年 11 月 27 日(金)　11：00 ～ 12：00
・11:00～11:20：三重県で開催された「平和発表会」にて学んだことの発表
・11:20～12:00：河田和子さんの被爆証言・質疑応答（11:20～12:00）

２　場　所

広島皆実高等学校　第一体育館（広島市南区出汐二丁目４-76）

３　参加予定者

・広島皆実高等学校 全校生徒　946 名
・広島第一高等女学校　同窓生 河田和子 氏（有朋 44 期）
※(注)広島県立広島第一高等女学校を卒業された 44 期
・本校 PTA 顧問　藤原みどり　氏
・本校教職員

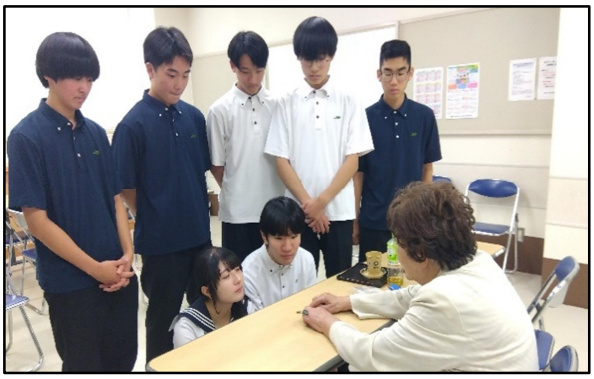
【全校平和学習会について】

広島皆実高等学校は毎年、広島市立段原中学校と連携して「語りつぐヒロシマ」を広島市段原公民館で行っています。その活動を踏まえ、同窓生の河田和子さんから受け継いだ平和への思いをもとに、平和活動に取り組んでいます。また、現在、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館では『原爆と第一県女』の展示が一年間にわたって行われており、生徒会の生徒全員がこの展示を見学し、同祈念館が第一県女と原爆を紹介するビデオにも参画しています。

今回の学習会では、本校生徒が、本校の前身である第一県女の先輩、河田和子さんの被爆証言に耳を傾け、その被爆体験や平和への思いを継承します。河田さんの被爆証言を聞くことを、原爆被害を身近な自分事として考える契機とします。また、この学習会を通してスクールアイデンティティーの醸成を図るとともに、平和な時代を築いていくために、自分たち若い世代がどのように行動していくのかを考える機会とします。



（令和８年度「語りつぐヒロシマ」講演会の様子）



（「事前打合せ」河田さんと第一県女の校章を見る様子）